

令和5年度 決算 報告

本市の令和5年度の決算がまとまりました。
 どのようなお金が入ってきて、どのような事業に使ったのか。また、これらの数字から市の財政事情はどうなったのかを見ていきます。

問財政課 ☎27-5053

令和5年度の一般会計の決算は、前年度と比較して歳入が35.5億円（5.5%）減の611.3億円、歳出が17.2億円（2.8%）減の588.3億円となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は23.0億円、この額から翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支は20.1億円の黒字となりました。

歳出総額 588.3億円
 (対前年度比 2.8%減)

歳出のトップは扶助費

歳出決算額を性質別にみると、扶助費などの義務的経費が260.2億円（44.2%）、補助費等などその他の経費が257.1億円（43.7%）、普通建設事業費などの投資的経費が71.0億円（12.1%）となりました。

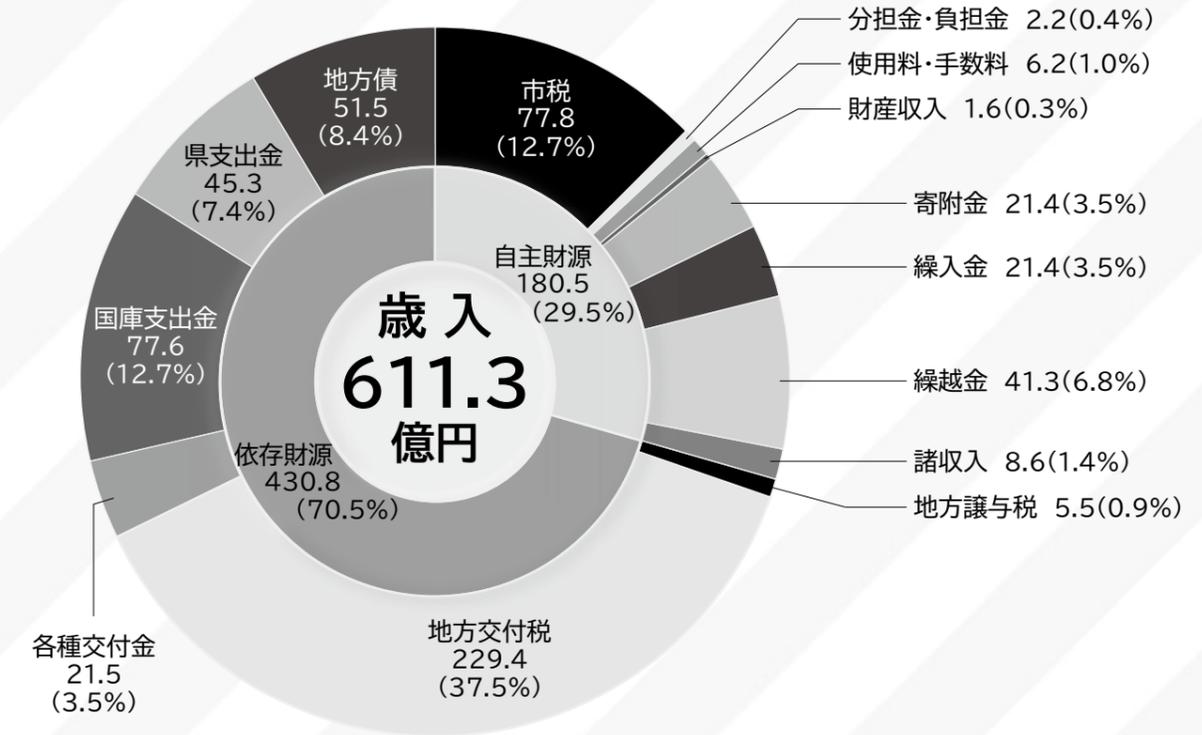
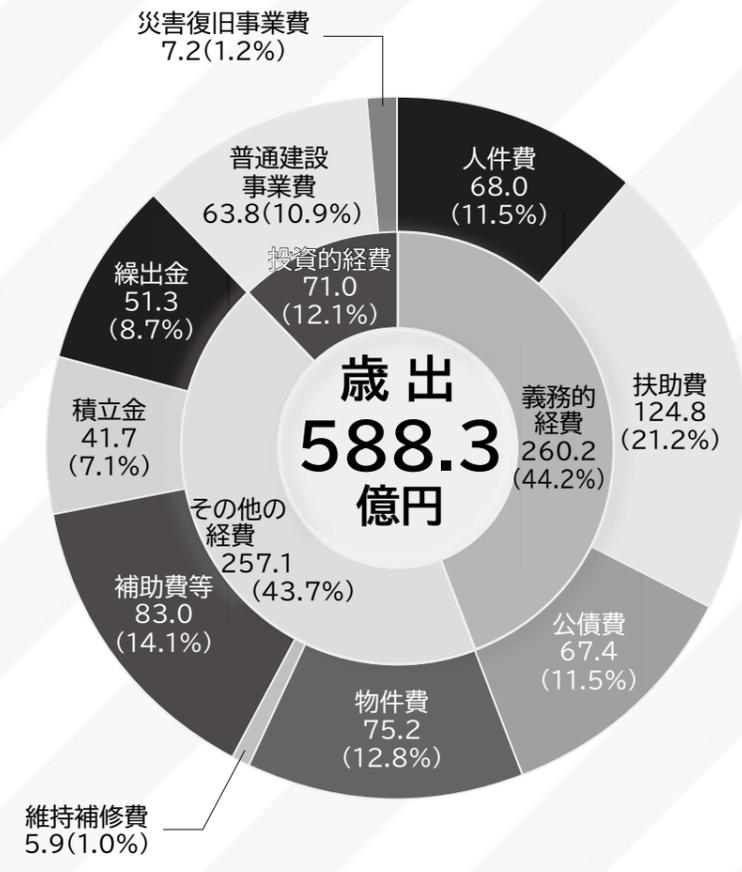
歳入総額 611.3億円
 (対前年度比 5.5%減)

歳入の70%が依存財源

歳入決算額を財源別にみると、市税などの自主財源が180.5億円（29.5%）、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が430.8億円（70.5%）となりました。

【性質別のお金の使い道】

- 扶助費
生活困窮者や子ども、高齢者、障がい者などを援助する費用
- 公債費
国や銀行などから借り入れたお金の返済のための費用
- 物件費
旅費や物品の購入費、委託料、賃借料などの費用
- 補助費等
天草広域連合（消防やごみ処理）に対する負担金や企業会計への補助金などの費用
- 繰出金
特別会計へ援助する費用
- 普通建設事業費
道路や橋りょう、漁港、観光施設や学校などの公共施設の整備費用



単位：億円

企業会計の決算状況

区分	収入	支出	
水道	収益的収支	22億7,837万円	20億8,162万円
	資本的収支	3億7,713万円	23億8,642万円
下水道	収益的収支	18億6,231万円	17億5,214万円
	資本的収支	1億9,670万円	8億5,608万円
病院	収益的収支	37億761万円	40億3,458万円
	資本的収支	4億2,592万円	21億3,197万円

企業会計とは

商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置するものです。

特別会計の決算状況

区分	収入	支出
国民健康保険	117億901万円	116億2,486万円
介護保険	119億8,829万円	114億3,413万円
後期高齢者医療	14億3,646万円	14億2,933万円
浄化槽市町村整備推進事業	1億665万円	1億654万円
国民健康保険診療施設	3億1,118万円	2億9,469万円
斎場事業	1億4,351万円	1億3,940万円

特別会計とは

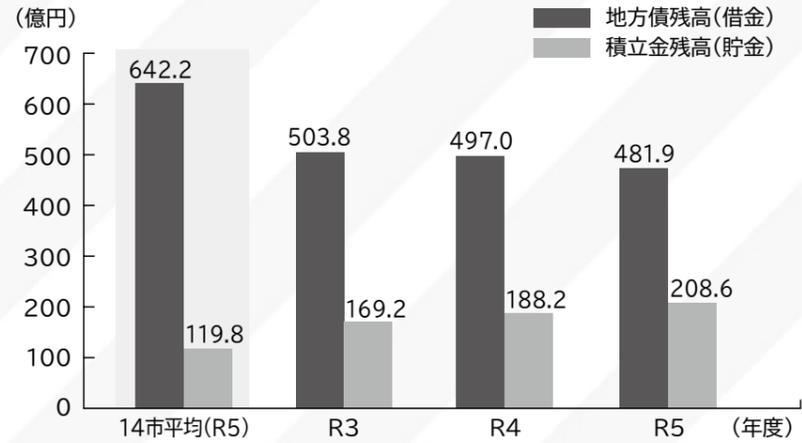
特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して会計処理をした方が望ましいときに設置するものです。



天草市の財政状況

市の財政状況の良しあしは、1つのものさしだけでは測れません。さまざまな指標を県内14市の平均値やこれまでの推移と比較しながら見てみます。

■市の借金と貯金の推移



●地方債(市の借金)

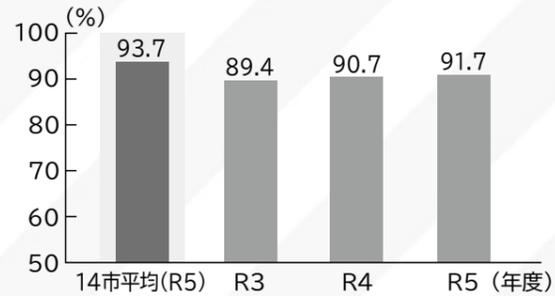
財政運営の基本方針として、借入金は元金返済額を超えないようにしているため、前年度から15.1億円減少しました。

●積立金(市の貯金)

前年度からの繰越金の増加や今後必要となる地方債の返済金の積み立てなどにより、前年度から20.4億円増加しました。

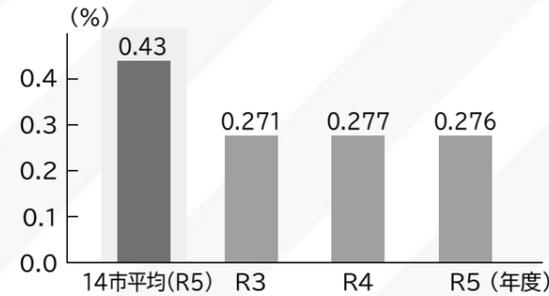
■経常収支比率

市税や普通交付税など経常的に入ってくるお金を、社会保障費や人件費など経常にかかる経費にどのくらい使っているかを見る指標で、前年度から1.0ポイント増加しました。この比率が高いほど財政状況に余裕がないことになります。



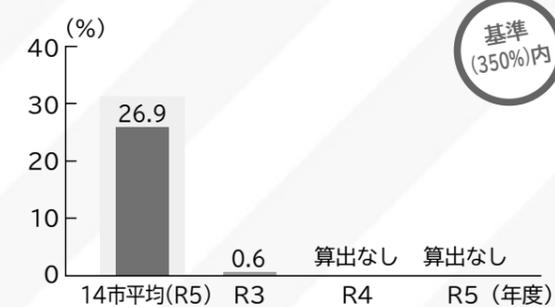
■財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な財源を、自力でどの程度調達できるかを見る指標で、前年度から0.001ポイント減少しました。指数が小さいほど財政力が弱く、交付税や補助金などに頼っていることを示します。



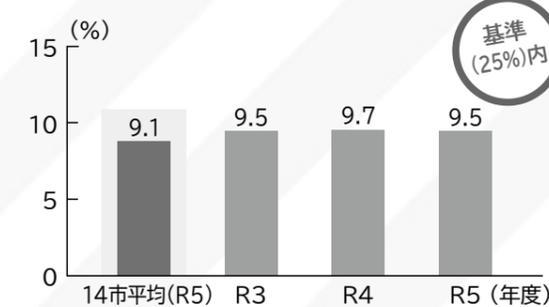
■将来負担比率

借金の返済や職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度かを示す指標で、令和5年度は収入が負債を上回ったため算出されていません。この割合が高くなるほど、将来財政を圧迫する可能性が高いということになります。



■実質公債費比率

収入に対する一般会計などの借金の返済の割合を見るもので、前年度から0.2ポイント減少しました。この割合が高くなるほど資金繰りが悪くなっていることとなります。18%を超えると、借金をするときに国の許可が必要となります。



市の予算はこんなことに使いました

一般会計の歳出を市民一人当たりで換算すると、年間で81万1,285円(R6.3.31現在の人口で計算)。市税の収入は、一人当たり10万7,267円なので、不足する70万4,018円は地方交付税や国庫支出金、県支出金などで補っていることとなります。

項目	民生費	総務費	公債費
決算額	183億9,189万円	135億2,388万円	67億3,854万円
市民一人当たり	25万3,625円	18万6,495円	9万2,925円
決算に占める割合	31.3%	23.0%	11.4%
主な事業	高齢者・障がい者・児童福祉など 	総務・財産管理、企画調整、地域振興、税務事務など 	施設整備などで借りたお金の返済 

項目	衛生費	教育費	土木費
決算額	63億2,477万円	34億1,426万円	26億9,787万円
市民一人当たり	8万7,219円	4万7,083円	3万7,204円
決算に占める割合	10.7%	5.8%	4.6%
主な事業	健康増進事業やごみ、し尿処理などの環境保全 	学校の運営管理やスクールバスの運行、施設整備など 	道路、河川、公園、市営住宅の整備など 

項目	商工費	農林水産業費	その他の経費
決算額	26億5,090万円	22億8,777万円	28億123万円
市民一人当たり	3万6,556円	3万1,548円	3万8,630円
決算に占める割合	4.5%	3.9%	4.8%
主な事業	商工業、観光の振興など 	農業、林業、水産業の振興など 	消防活動や消防施設の整備、議会運営、災害復旧費など 